



九州工業大学情報工学部では、  
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として  
『サイエンス・カフェ』を開催しています。

一般の方々が、科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に拡がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。

## 第13回 サイエンス・カフェ @九工大情報工学部

●日時：2013年 1月25日 (金)  
18:00~19:30

●場 所：九州工業大学・飯塚キャンパス  
福利施設2階喫茶 飯塚市川津680-4

●テーマ：『コンピュータの来し方、行く末』

●ゲスト：<sup>よしだ たかいち</sup>吉田 隆一 氏  
(情報工学研究院  
情報創成工学研究系 教授)

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、  
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 必要 (定員20名)

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電 話：0948-29-7509 (平日10:00~17:00)

メー ル：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp



### ゲスト紹介

よしだ たかいち

吉田 隆一 氏

情報工学研究院  
情報創成工学研究系 教授

コンピュータが、計算機室に鎮座する「電子計算機」から、オフィスや自宅の「パソコン」や掌の上に乗る「スマートフォン」になり、「いつでも、どこでも、誰でも」の時代がやってきました。バスや電車の運賃、あるいはコンビニエンスストアの代金を支払うICカードも非常に小さなコンピュータです。

一方で、インターネットの普及により、コンピュータが計算のための機械ではなく、コミュニケーションの道具として用いられるようになってきました。これにより、インターネットのシステムは、今や、独裁政権を倒す力を人々に与えるまでに成長しました。

今回は、今日に至るまでのコンピュータの発展と近い将来を、情報工学の立場から見て行きたいと思います。